

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第8時(9時間取り扱い)

ひし形の面積を求めようと
課題を持つことができる!

本時の授業の概要

既習の求積方法をもとにひし形の面積を求める発展学習である。ひし形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

本時の目標

ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

活用場面

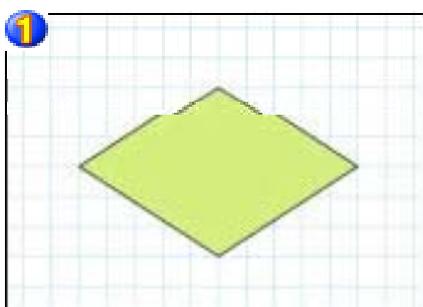
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



ひし形の面積を工夫して求めようと課題をもつ

① T：今まで学習してきたことを使ってひし形の面積を考えましょう。

T：ひし形の面積を求めることはできますか。

C：今まで学習した公式は見えそうにありません。

T：どうしてできないのかな。

C：平行四辺形や三角形ならできるけど、どれも当てはまらない。

T：平行四辺形や三角形のときは、どうしましたか。

C：面積が求められる図形に変形しました。

C：ひし形も同じように変形するとできそう。

T：今日は、ひし形をいろいろな方法で変形して面積を求めましょう。

【ワンポイントアドバイス】

デジタルコンテンツのクリップを再生せずに、スタートの画面のみ提示する。このことによって、児童が、「ひし形の面積を求められない」「変形すれば求められそう」など様々な発言をもとに、ひし形の面積を求められるようになりたいという気持ちを高たい。

【サイト情報】

http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S22.mpg
「算数・数学の思考過程をイメージする動画素材集」